

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 903 号	氏名	原田 達彦
学位審査委員	主 査 西田 教行 副 査 尾崎 誠 副 査 佐々木 均		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の増悪因子であるインフルエンザ感染とそれに続く二次性肺炎球菌感染に対するクラリスロマイシン (CAM) の効果を明らかにしようとしたもので目的は妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 マウスにエラスターゼを経気管的に投与し、COPD モデルを構築し、このモデル系のインフルエンザ感染前後における CAM の効果を、生命予後ならびに病理学的変化をもって評価している。ウイルス、菌、サイトカインなどを測定し、定量的に比較検討しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、コントロールの COPD マウスモデル群がインフルエンザ感染後の二次性肺炎球菌肺炎により死亡するのに対し、CAM を予防的に投与した群では生命予後が改善することが明らかになった。病理学的には好中球の増加の抑制、インターフェロンガンマの産生抑制が認められ、CAM の効果の作用機序について文献的な考察を行なっている。本研究成果は、COPD 患者における急性増悪の予防法確立のための臨床研究へと進展すると期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は呼吸器感染症学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			